News Release



令和2年8月14日

各位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス 代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢 (コード2388 東証JASDAQ市場) 問合せ先 開示担当 小竹 康博 (TEL 03-6225-2207)

2020年第2四半期度業績についての説明(監査済み)

当社の重要な子会社でありますSET (タイ証券取引所) 上場のDigital Finance会社Group Lease PCL (以下GL) は、同社がSETに開示した2020年第2四半期の業績についてプレスリリースを公表いたしましたので、日本語訳にてご紹介いたします。

今四半期は前四半期に引き続いて、新型コロナウィルス感染症拡大防止政策、特にロックダウン等の影響を大きく受けて営業活動が大きく制限されました。そのため売上の大幅な減少があったものの、既に前四半期で保守的に特別引当金を積み増していたこと、一方でこの2年間に取り組んできた事業効率化が功を奏し、事業経費が大幅に削減されたことが大幅な利益増につながりました。

(以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳)

Group Lease Public Company Limited (以下、GL) の 2020 年第 2 四半期の連結及び個別の業績について以下にその概要を説明します。

連結財務諸表

GL が発表した 2020 第 2 四半期業績において、当期連結純利益は 55.05 百万タイバーツとなり、前年同期(2019 年第 2 四半期) 純損失 1.8 百万タイバーツから 56.85 百万タイバーツの増加となりました。主な要因として、売上減少よりも費用削減の金額が大きかったことがあげられます。

- 1. 割賦及びリース販売利息収入は、昨年同期と比べ87.17百万タイバーツ減、19%減の365.32百タイバーツを計上しました。(訳者注:主に昨年8月まで続いた大型訴訟に対応する戦略的選択の結果)割賦及びリース販売利息収入の内訳は以下になります。
 - ・GL タイは、昨年同期に比べ 57.85 百万タイバーツ減、18%減となりました。貸付ポートフォリオを縮小し、質向上を図る保守戦略を新たに実施したことが主な要因です。

- ・カンボジアの子会社 GLF Finance Plc. (以下、GLF) は、昨年同期に比べ 13.30 百万タイバーツ減、16%減となりました。貸付ポートフォリオを縮小し、質向上を図る保守戦略を新たに実施し、新規顧客の審査をより厳しく行ったことが主な要因です。
- ・タイの子会社 Thanaban Company Limited (以下、TNB) は、昨年同期に比べ 9.82 百万タイバーツ減、30%減となりました。
- ・ラオスの子会社 GL Leasing (Lao) Ltd. (以下、GLL) は、昨年同期に比べ 4.18 百万タイバーツ減、20%減となりました。自動車とホンダオートバイの混合商品の減少が主な要因です。
- ・インドネシアの子会社 GLF Indonesia (以下、GLFI) は、昨年同期に比べ 2.02 百万タイバーツ 減となりました。インドネシアにおいて事業パートナーとの間で訴訟が継続しており、共同事業が中断していることが主な要因です。
- 2. 貸付利息収入は、前年同期比 4.16 百万タイバーツ減、14%減の 25.25 百万タイバーツを計上しました。TNB におけるポートフォリオの減少が主な要因です。
- 3. マイクロファインナンス利息収入は、前年同期比 1.19 百万タイバーツ増、3%増の 44.66 百万タイバーツとなりました。
 - ・ミャンマーの子会社 BG Microfinance Myanmar Co, Ltd. (以下、BGMM) は、前年同期比 2.12 百万タイバーツ増、6%増の 36.26 百万タイバーツを計上しました。
 - ・インドネシアの子会社 GLFI は、前年同期比 2.19 百万タイバーツ減、24%減の 7.13 百万タイバーツを計上しました。共同ファイナンス事業の停止を受け、貸付ポートフォリオが減少したことが主な要因です。
 - ・ラオスの子会社 GLL は、1.27 百万タイバーツを計上しました。
- 4. 割賦及びリース販売サービス料収入は、昨年同期と比較して 2.65 百万タイバーツ減、12%減の 19.99 百万タイバーツを計上しました。契約数の減少が主な要因です。この割賦及びリース販売サービス料収入は、ミャンマーの子会社 GL-AMMK がミャンマーのファイナンス会社 Century Finance と提携により提供しているリースサービス事業に関するものです。
- 5. その他割賦及びリース販売関連収入は、昨年同期と比較して 5.51 百万タイバーツ減、9%減となりました。返済が困難な顧客に対して 3 ヶ月の猶予期間は違約金を科さない救済支援プログラムを継続したことが主な要因です。(訳者注:タイ政府による新型コロナウィルス感染拡大対策)
- 6. その他収入は、昨年同期比 1.23 百万タイバーツ減、51%減となりました。返済が困難な顧客に対して 3 ヶ月の猶予期間は違約金を科さない救済支援プログラムを継続したことが主な要因です。
- 7. 為替差益は、55.25 百万タイバーツでした。主な要因は、2020 年第1 四半期と比べ 2020 年第2 四半期は米ドル安が進行し、米ドル建て債務を再評価した結果です。

- 8. サービス費及び管理費合計は、昨年同期比 47.55 百万タイバーツ減、16%減の 252.80 百万タイバーツを計上しました。訴訟費用において 14.21 百万タイバーツ減少、16%減少、事務所賃借料及び減価償却費において 11.95 百万タイバーツ減少、49%減少、従業員への給与において 8.51百万タイバーツ減少、5%減少、減損対象オートバイ在庫の減少により 6.55 百万タイバーツ減少が主な要因です。いずれも効率的なコスト管理の結果です。
- 9. 不良債権及び貸倒引当金は、前年同期比 22.10 百万タイバーツ増、19%増となりました。不良債権の除却費用が 2.40 百万円減少し、貸倒引当費用が 24.50 百万タイバーツ増加したことが主な要因です。
- 10. 担保権行使資産処分による損失は、前年同期比 2.32 百万タイバーツ減、6%減の 69.41 百万タイバーツを計上しました。担保権行使率が低い水準で推移したことが主な要因です。
- 11. 株式 29.99%を保有するスリランカの持分法適用会社 Commercial Credit and Finance PLC(以下、CCF)からの持分法による投資利益は 12.09 百万タイバーツとなり、2019 年第 2 四半期の損失 30.79 百万タイバーツから 42.89 百万タイバーツ利益が 139%増となりました。2019 年第 2 四半期の会計基準調整が主な要因です。
- 12. ファイナンス費用は、前年同期比 36. 45 百万タイバーツ減、38%減の 60. 35 百万タイバーツでした。2019 年第 3 四半期のタイバーツ建て社債返済と 2020 年第 2 四半期の 20 百万米ドル転換社債の返済による利息減少が主な要因です。

個別財務諸表

2020年第2四半期の当期純利益は、106.70百万タイバーツとなり、前年同期の89.79百万タイバーツより増加しました。その要因は以下の通りです。

- 1. 割賦及びリース販売利息収入は、前年同期の 313.86 百万タイバーツから 57.85 百万タイバーツ 減、18%減の 256.01 百万タイバーツでした。貸付ポートフォリオを縮小し、質向上を図る保守 戦略を新たに実施したことが主な要因です。
- 2. その他利息収入は、前年同期の 97. 19 百万タイバーツから 24. 02 百万タイバーツ減、25‰減の 73. 17 百万タイバーツに減少しました。子会社への貸付減少が主な要因です。
- 3. 経営指導料が 4.5 百万タイバーツ増加しました。TNB からの経営指導料増加が主な要因です。
- 4. その他割賦及びリース販売関連収入は、昨年同期と比較して 4.27 百万タイバーツ減、13%減となりました。返済が困難な顧客に対して 3 ヶ月の猶予期間は違約金を科さない救済支援プログラムを継続したことが主な要因です。
- 5. 為替差益は、85.52 百万タイバーツでした。主な要因は、2020 年第1 四半期と比べ 2020 年第2 四半期は米ドル安が進行し、米ドル建て債務を再評価した結果です。

- 6. サービス費及び管理費合計は、前年同期比 32.09 百万タイバーツ減、20%減の 129.10 百万タイバーツでした。訴訟費用において 13.02 百万タイバーツ減少、39%減少、従業員への給与において 8.37 百万タイバーツ減少、9%減少、減損対象オートバイ在庫の減少により 9.64 百万タイバーツ減少が主な要因です。いずれも効率的なコスト管理の結果です。
- 7. 不良債権及び貸倒引当金は、前年同期比 20.83 百万タイバーツ増、25%増の 105.3 百万タイバー ツでした。不良債権の償却費用は 3.58 百万円増加、5%増加し、更に貸倒引当費用が 17.25 百万タイバーツ増加したことが主な要因です。
- 8. 資産処分による損失は、前年同期比2.31百万タイバーツ増、4%増の64.32百万タイバーツでした。2020年第2四半期においてオークション価格が減少したことが主な要因です。
- 9. ファイナンス費用は、前年同期比 37.14 百万タイバーツ減、39%減の 57.70 百万タイバーツでした。2019 年第 3 四半期のタイバーツ建て社債返済と 2020 年第 2 四半期の 20 百万米ドル転換社債の返済による利息減少が主な要因です。

以上